

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄
公演団体名	ACO 沖縄

内容
<p>※予定していた『マミドーマ』は、出演者との接触、小道具・衣装の使用、大きな声を出してのセリフなどがあるため内容を変更し、接触頻度が低く他者との間隔も取りやすい、わらべ歌『赤田首里殿内（あかたすんどろんち）』をベースとした、手遊びとカチャーシーを実施いたします。</p> <p>【ワークショップの内容】 沖縄の踊りをおどってみよう！～カチャーシー講座～</p> <p>① カチャーシーの説明 『カチャーシー』とは『かき混ぜる』という意味の沖縄の言葉です。 自分の気持ち、相手の気持を分かち合い、出会えた喜びに感謝を込め、身体で表現します。</p> <p>② 琉球舞踊の所作（うごきかた）を学ぶ 足でリズムを取ったり『こねりて（手の動き）』を指導します。</p> <p>③ 赤田首里殿内で手遊びとカチャーシーをおどる 本公演『沖縄燦燦』のなかで歌われる『赤田首里殿内（あかたすんどろんち）』。 手遊びを交えて沖縄の方言を学びます。 まず『赤田首里殿内』を歌って手遊びと方言を学びます。 つぎに琉球民謡『唐船（とうしん）ドーイ』のリズムに合わせてカチャーシーを踊ります。 最後に、みんなで『唐船ドーイ』の楽曲に乗せて『赤田首里殿内』の手遊びとカチャーシーを踊ります。</p> <p>【赤田首里殿内の歌詞】 赤田首里殿内（あかたすんどろんち） 黄金 灯籠 下ぎてい（くがに どうる さぎてい） うりが 明がりば（うりが あかがりば） 弥勒 お迎え（みるく うんけ） シーヤープー シーヤープー 《手遊び：ほっぺをさわる》 ミーミンメー ミーミンメー 《手遊び：耳をさわる》 ヒージントー ヒージントー 《手遊び：肘をさわる》 イーユヌミー イーユヌミー 《手遊び：手のひらを指でさす》</p> <p>★本公演では、全校生徒に向けて『喜びの踊り』という手踊りワークショップも行います。 それぞれの鑑賞場所にしながら、みなさんと踊れる楽しいおどりで。</p>

タイムスケジュール（標準）

【ワークショップ当日の流れ】

- ①ご挨拶、本公演会場（体育館、搬入口など）の下見など（60分）
- ②対象生徒へのワークショップ（95分・要相談）
- ③ワークショップ終了後、本番当日の流れについてお打合せ（40分）

※ワークショップを時短で実施するなど、学校側のコロナ対策（希望）に沿って適宜検討する

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

5～6名

- ・主指導者：1名
- ・補助者：4名＋α1名

※上記の派遣者は本公演も参加いたします

学校における事前指導

- ①. ワークショップ当日までに、参加される生徒を決めていただく。
※ワークショップへの参加人数に制限はなし（※）
- ②. 赤田首里殿内をベースとした手踊り・カチャーシーを録音・録画し、参考資料としてメールやYouTube限定公開で実施校へ送付する。担当の先生は、それをもとに凡その流れを把握いただく。

※ワークショップをオンラインで実施するなど、学校側のコロナ対策（希望）に沿って適宜検討する

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	一般社団法人エーシーオー沖縄
公演団体名	ACO 沖縄

演目
<p>～燦燦と輝くいのちの輝き～ 沖縄版ミュージカル『沖縄燦燦』 ○見どころ 琉球舞踊をベースにした優雅で繊細な演技と、ときにダイナミックな踊り、あでやかな伝統衣装の早変わり。バイオリン、ヴィオラ、三線、パーカッション、島唄が、働く喜び、生きる喜びを高らかに表現します。沖縄の生活情景を7つにわけた、わかりやすいストーリー展開で、こどもたちへ生きることへの喜びを伝えます。</p> <p>○あらすじ 沖縄が琉球王国と呼ばれていた時代。漁師の三良（サンラー）は舟に乗り漁を始めた。陸では、三良の無事を祈る加那（カナ）がいる。想いが空を飛び、舟を守る。村一番頼りがいのある三良と、おとなしく内気な加那の、不器用で純粋な仲を村の娘たちが密かに応援する。村は小さく貧しいけれど、みんなが助け合い、暖かい心を持っている。豊年祭で自然への感謝と豊作を喜び、祝う。</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
16名 ・出演者：9名 ・スタッフ：7名

タイムスケジュール（標準）
<p>～本公演当日の流れ～</p> <ol style="list-style-type: none">①ご挨拶、諸々の確認など②機材搬入・舞台設営③リハーサル ※45分程度④本公演⑤撤収 <p>【本公演の内容】所要時間：70分 / 出演者9名・スタッフ7名</p> <ol style="list-style-type: none">①全校生徒へ約5分程度のワークショップ ～「沖縄燦燦」エンディングテーマを踊ってみよう！～②本公演観覧の生徒と出演者による「赤田首里殿内（あかたすんどぅんち）」を踊る <p>※学校側のコロナ対策（希望）に沿って適宜検討する</p>

《 参考例 》

8:30 スタッフ・出演者入り

8:30-12:30(4時間)仕込み・舞台設営

12:30-13:00(30分)生徒たちリハーサル

※時間帯を含め学校側のコロナ対策(希望)に沿って適宜検討する

13:30-14:40(70分)本公演

14:40-16:40(2時間)片付け・退室

実施校への協力依頼人員

会場が2階の場合、協力をお願いいたします。

演目解説

～燦燦と輝くいのちの輝き～
沖縄版ミュージカル「沖縄燦燦」

第一景：海人（若い漁師）

三良はサバニに乗り込み櫂を振るって
沖をめざし漁が始まる。



第二景：みやらび商い（娘たちの魚売り）
働きものの娘たちはウキウキ箆を頭に載せて
魚を売りに街へ行く。

第三景：ヨーカナヨー（恋の歌と踊り）
森の木陰。想いを伝えあう二人。

第四景：ユイマール（助け合い）

三良が家を建てようとするのを、村人みんなで手伝う。



第五景：にいびち（結婚式）

三良と加奈の祝いの儀式。村人たちと祝う。

第六景：豊年祭（収穫の祝い）

海の向こうから、豊穡をもたらすミルク神がやって来た。

第七景：沖縄燦燦（生きる喜び）

この島とともに、私たちは生きる。

今日という日は黄金のように輝くとともに素晴らしい日
平和で豊かな世の中になりますように。



児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

本公演前の別日程で「赤田首里殿内（あかたすんどうち）」を使って手踊り（カチャーシー）のワークショップを実施する。

また、上記ワークショップへ参加できなかった生徒さんのために、観劇する全員に向けて本公演の当日、開演5分間に歌と手踊り（喜びの踊り）のワークショップも行ないます。

なお、本公演の最後には、一緒に声を出して「さんさーん！」という燦燦コールをしたり、手を叩きながら体を動かしたりできるよう、舞台上から出演者が子どもたちへ呼びかけます。

児童生徒とのふれあい

琉球舞踊の免許を持った出演者から直接、手踊りの指導を受け表現する楽しさを体験します。

出演者と共に手踊り・カチャーシーを行なうことで、自身が一緒に舞台へ参加している感覚と、その一体感を得ます。

※学校側のコロナ対策(希望)に沿って適宜検討する